

## 楽しいが継続の秘訣！

松浦千恵さん



NPO 法人グリーンママの「緑区地域子育て支援拠点いっぽ」で活動する、松浦千恵さん。グリーンママに関わって、8年。やりがいと楽しさを感じているという松浦さんに、お話を伺いました。

### きっかけは、背中を押されて

子育て支援に携わるようになったのは、緑区に移り住んでからです。自身の子育てをする中で出会った、保健師さんの強い勧めで、育児サークルに参加し担い手として活動をするようになりました。とても面倒見のよい保健師さんで、その方の後押しが、とても大きなきっかけでした。その方がいなかったら、おそらく私は、ここにいなかったでしょう。はじめは、バリバリと活動していくつもりもありませんでしたが、そこで仲良くなった人と、リーダー会議などを通して、地域の方々と親睦を深めていき、少しずつ活動の幅を広げていきました。

また、緑区の育児サークルのネットワークグループのチラシを見て、魅力を感じて参加し、更に活動が広がりました。そこで運営側として活動することが楽しくなり、のめり込むおもしろさや、やりがいを感じました。

今、「緑区地域子育て支援拠点いっぽ（以下、いっぽ）」でも運営の仕事に携わり、充実したやりがいのある仕事をさせてもらっています。人に後押ししてもらったことと、自分の想いが今につながっています。

### 毎日が文化祭

育児サークルのネットワークグループで活動をしていた頃感じたことは、一年中文化祭をしているみたい！という感覚でした。企画をつくったり、わいわいと楽しむ時間は、まさに学生時代の文化祭。とにかく、つくるのが楽しい。イベントの当日はもちろんですが、イベントの成功を目指して、みんなでつくる過程にとても魅力を感じます。そのような過程の中で、お母さん同士のつながりも生まれてくると感じます。

子育ては、一人でするものでなくてよいと思います。みんなで一緒に何かをすることは、家で子どもと二人っきりでいるよりも、ずっと楽しい。そのことを育児

中の人に伝えたくて、子どもが大きくなった今も、子育て支援にずっと関わり続けています。

また、自分が、気兼ねなく参加できたのは、みんな子どもを連れているお互い様の環境であったから。子どもの世話をしながら、邪魔されながらの打ち合わせは中断してばかりでしたが、これは当たり前なこと、お互い様だからそんなことを責める人はいませんでした。子ども連れのお母さんの中には、周りに迷惑がかかると外に出ることを遠慮しがちな人もいます。子どもを連れているということだけで、迷惑がられ嫌な思いをしてきたお母さんたちもいるでしょう。子ども連れが安心していただける場が必要です。

そんな思いが形になったのが、今、あちこちにつくられ、「いっぼ」にもある「親子のひろば」です。子どもを連れているお母さん同士が集まるので、周りを気にすることもなく、お母さんも思いっきり楽しいと思える場なのだと思います。お母さんの居場所ともなるこの環境を、大切にしていきたいと思っています。

## 夢は、いろんな色のいっぼ

今は、いろんなところに親子が集う広場ができており、親子の居場所がとても大切なものになっていると思います。そして、どこの広場にも、雰囲気や利用者さんの色があると感じています。「いっぼ」にも、「いっぼ」の色があります。

でも、他の色のお母さんには、入りにくい環境かもしれない。ここを、居心地がよいと思っているお母さんにとっては居場所であっても、ここにいるお母さんと異なるタイプのお母さんは、来にくくなってしまいうように思います。だから、私は違う環境にいるお母さんなど、いろんな色のお母さんに来てもらえる場にしたいと考えています。

もっと地域に開かれた場所にしていきたい。まだまだ、「いっぼ」の存在を知らないお母さんや、来にくいお母さんもいると思います。そんなお母さんにも、足を踏み出してもらえたら嬉しいです。そして、みんなで楽しみながら子育てをしていけたらと思っています。

## 勉強しながら実践できる環境

今は、事務を中心に運営に携わる仕事をしています。現在活動している、「グリーンママ」に関わるようになってからは、NPO 法人格をとる事務作業も中心になって取り組みました。税金や労務に関しても、全くわからなかったので、苦勞することもたくさんありました。大変な役割を担っていると思われそうですが、そういう思いではありません。

自分の役割が「やらされている」感ではないからかもしれません。楽しい！やりたい！という気持ちでやっています。

「税金ってどうすればよいのだろう？」という中、勉強しながら、知らないことをたくさん知ることができました。子育ての仕事だけど、子育てだけではない。知らないことを知る楽しさがここにはあります。そのようなところにも、惹きつけられています。



<事務所での作業風景>

いろいろなものに挑戦できるということはもちろんですが、何よりもすごいのは、勉強しながら実践できるということ。さまざまな支援制度を活用して勉強をしたり、本で勉強したりもしました。ここでは、得た知識をすぐに試してみることができます。やりながら勉強できる環境があるので、とても恵まれているなと思います。

初めは大変でしたが、運営するために必要なことを勉強することで、社会の仕組みなども見えてきたように思います。それまでは税金などの知識もありませんでしたが、知らない世界にどっぷり浸る機会を、楽しんでいます。



<拠点での活動風景>

## とにかく楽しいということ

つくっていく楽しさや、事務作業も楽しんでいます。子育て支援の活動では、たくさんの子どもの成長する姿が見られるので、これも楽しみです。“支援”とつく活動ですが、人のために役に立っているということが嬉しいとか、そういうことは、少し違うと感じています。「奉仕している！」とか、「よい活動をしている！」という想いでも、「やってあげている！」という想いでもありません。とにかく自分が楽しいので、この活動を続けています。この想いをつないでいきたいと思っています。

今、インターンの学生など、将来の新しい担い手が、グリーンママの運営している子育て拠点にも来てくれています。得たものを、他のところでもいい。どんな形でもいいから、何か形にしてもらえたら嬉しい、と思っています。

## 新しいことにチャレンジすること

NPOに関わって、新しいことに挑戦するおもしろみを知りました。

私の活動のきっかけは、人から声をかけてもらったこと。自分が強い後押しをしてもらったように、今は自分が「活動に参加してみない？」と、声をかけています。

先日、子育てイベントの活動をする中で、「文化祭のようで楽しい！」と言ってくれるお母さんがいました。自分と同じ気持ちを抱いてくれたことが、とてもうれし



<拠点での活動の様子>



<落書きされたノート>

く感じました。今は、活動をしていなくても、やってみると夢中になれる人がまだまだたくさんいると思います。

## 創ることに喜びがある

活動をしてみて思うことは、担い手になることで違った楽しさが味わえるということ。想いがある人たちと、つくっていくことや、メンバーの中心になって考えていくことにはやりがいを感じられます。

だから、これから子育て支援に携わろうとしているお母さんにも、一緒に中心になってつくっていただけたらおもしろいと伝えたい。参加するだけよりも、実行委員など創るところに関わってから充実したという、お母さんからの声もあります。

もともと、今の活動も子育て通信を作る仕事を担当するというので、友人からの強い押しがきっかけで関わるようになりましたが、入ってしまうと、通信を作るだけでは、物足りなくなっていました。どんどんのめり込んでいきました。

ちょっとしたお手伝いしてくれる人はたくさんいます。でも、中心となってNPOの活動を一緒に動かしてくれる人は少ないです。中心になってやることに慎重になっている人も少なくないと思います。でも、活動が続ける中で私は、夢中になりました。だから、あまり抵抗を感じず、参加してみてもいいと思います。一緒に楽しめる仲間が増え、工夫をしていくことのおもしろみを感じてもらえたら、とても嬉しいです。

活動をするか迷っている人には、「やってみて、楽しさが感じられました！」ということ伝えたいと思います。参加するだけでなく、つくっていくことに、その人しか感じられないおもしろみが隠れているかもしれません。

**編集後記** まさに、縁の下の力持ちの方です。会計や労務という地味な仕事にも面白さを見出し、わからなかったら大学まで聞きに行くという探究心に脱帽です。市民活動団体に松浦さんが一人いれば、団体の力が着実にアップすること間違いのないでしょう。

### ◆団体概要

**NPO 法人グリーンママ** <http://www.midori-ippo.com/>

NPO 法人グリーンママは、緑区で子育てをしているお母さんたちが中心となって子育て支援活動をおこなっている団体です。いっぽは、未就学児とその親、また、子育て支援者のための拠点で、子育て支援事業を行っています。お母さんたちが、子育ての不安や悩みなどを相談できる場でもあり、お母さん同士のつながりをつくる場でもあります。お母さんと子どもが、自由に来て過ごせる場で、親子の居場所となっています。

さまざまな人が、多岐な関わり方で支えています。